

「会員増強・退会防止」の具体的方策は

フォーラムリーダー 村松邦彦 会員増強退会防止委員長

7月30日、村松委員長の司会のもと「会員増強 退会防止」をテーマとしたクラブ奉仕フォーラムが開催された。

はじめに村松委員長よりロータリークラブ全体の会員数、第2780地区の会員数、人口比からみた平均的な全員数等の発表があり、平均的に人口比1000人に1人の割合で会員数が維持拡大されている現状を考えると、逗子ロータリークラブは逗子市の人口約57000人に対して57人となるので現在会員数51人から57人あたりまで上積みできるのではないかと？

今日のフォーラムはそれを目指した具体的な方策についてご討議頂きたい旨のご説明があった。

次いで出席者の皆さんを3グループに分け、以下の3項目について討議しグループごとに発表頂いた。
(以下 発表内容 容技粋)



①退会防止に役立つ手段、方法

・楽しい例会 卓話の充実は不可欠。その上で低出席率の開院には、3役が交代で声をかける。

・新会員に対するケアはきめ細かに世代間の相互理解不可欠であり先輩は新会員に積極的にコミュニケーションをはかる。

・特に入会3ヶ月間は例会出席が大切であり出席委員会を巻き込んで例会出席を促す。

・そして出席が基本で出席が第一歩であることを意識してもらう。

・例会イベント等の成功体験の共有が一体感の醸成に役立つもので積極的に誘う。酒の飲める会員はコミュニケーション

・二ヶーションもとりやすいので打ち上げにももれなく誘う

②会員増強の方策(過去の成功例)

・会長の増強に対する意欲なくしては増強できない。

・3役は常に増強に頑張つて欲しい。

・3役ガンバレ!

・JCCから入会する若者が多い。少しでもRCに興末のある方には声かけをする。

・例会体験をしてもらう。宣伝PRも大切だがまずは例会にお呼びし一度参加してもらう。

③宣伝PRの方法(具体的に)

・実績もあり宣伝効果もあるタウンニュースに掲載する。

・フェイスブックなどソーシャルネットトサービスを活用する。

真面目な岡本会員の発表、気合の入った矢部光治会員の発表等でフォーラムは終了いたしました。
(担当:寺嶋正彦)

ニコニコBOX本日合計

¥31.000

累計 ¥257.000

桐田君: ちょっと夏バテきみです。フォーラムよろしくお願います。

服部君: 村松さん、フォーラムよろしくお願います。宇多川さんようこそ!

大野君、山本由君、桐ヶ谷君、山口君: 会員増強・退会防止フォーラム、村松さんよろしくお願います。

矢部君: クラブ奉仕フォーラム、実がありがたいです。

矢部君: 会員増強は会長の熱意で決まる。ガンバレ三役!

岡本君: ぼちぼちいこカーの宇多川さん、本日はよろしく。

石田君: 宇多川さんようこそ。

安藤君: LED ライトの威力は明るくて電気が大変安いです。有難うございます。

臼井君: 徳永先生新しい診療所の開院おめでとうございます。

森澤君: 欠席が続きますミマセン。

横山君: 昨日中三の娘を一人でサンフランシスコに行かせました。(母を訪ねて三千里です)

寺嶋君: 横浜高校、甲子園残念でした。

湊屋君、菊池君: 毎日暑い、猛暑が続きます。

毛利君: 暑い。まだ夏は始まったばかり...

村松君、長野君: 暑い、暑い。兎に角暑い!

川上君: いろいろ大変、そして暑いですね。

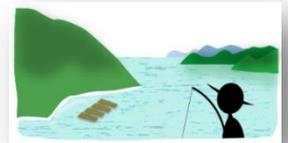
草柳君: 毎日暑いので身体に気をつけよう。

宝子山君: 連日異常な暑さ、日本もいよいよ亜熱帯ゾーンに?

福嶋君: !!アツイ!! 生ビールがうまい。

橋(武)君: 浴衣が似合う季節だね。

逗子ロータリークラブ Weekly Report



第 2584 回例会

2015-2016 No.6 2015年8月6日



世界へのプレゼントになろう

E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp
Website: <http://www.zushi-rc.com/>

例会日
第 1・2・4 木曜日 12:30
第 3 木曜日 18:30
第 5 木曜日 18:00
例会場:「カンティーナ」
逗子市新宿 1-3-15
TEL:046-870-6440
事務所:逗子市逗子 1-9-26
萬屋ビル 2F
TEL & FAX:046-873-0226

会 長◆桐田吉彦
会長代行◆菊池 尚
副会長◆安藤脩二
幹 事◆服部城太郎
SAA◆福嶋謙之輔
会 計◆市川 浩
直前会長◆藤吉一哉
会報委員長◆宝子山泰久

本日の進行(12:30)
山口 茂氏
逗子独立奉賛会 会長
「逗子独立運動のあゆみ」
一回のお知らせ—
8月20日(木)(18:30)
田中 稔氏(プロレスラー)
「プロレスについて」

— 2583 回 例会記録 2015年7月30日 —

想定外という言葉があります
が、幸せな事に私はこれまで想定
外の事に遭遇したことが有りま
せん。
昨年御嶽山の噴火でたくさん
の尊い生命が失われました。これ
を受け気象庁は47ある活火山
を対象に5分以内に警報・警戒
を発表、登山者や住民に知らせる
と有ります。昨日から御嶽山で消
息不明の6人の方々の捜索が再
開されています。1日あたり10
0人の県警や消防隊員の捜索隊
が自衛隊のヘリコプターで入山
することのようです。
数日前には小型プロペラ機が
離陸に失敗し墜落、尊い生命が失
われました。
昨日横浜の海技免許センター
で一級小型船舶の免許更新に行
ってきました。小型船舶操縦者の
遵守事項の確認と事故例での講
習でした、今思えばすべて想定内
の講習です。私は山歩き、海洋ス
ポーツを好んでやっています。



桐田会長の時間

想定外の事故に遭遇した時

遭難やトラブル時の対応を考え
ながら練習をしますが想定内の
事です。当然訓練や回避の練習は
必要と考えます。

では想定外の事故に遭遇した
とき「ゴルゴサターン」彼しか回
避できないのでしょうか、私は経
験を積む中で、あり得ないだろ
う、まさかそんなことは無いだろ
うということ予測し、対する準
備をしておくことが必要かと思
います。

一人の人生では限られた経
験でも多くの仲間の成功と、失敗
そして体験を聞くことによって
想定外を限りなく少なくするこ
とが出来ると思っています。

幹事報告

- ・8月特別月間の新名称
「会員増強・新クラブ結成
推進月間」
- ・ロータリーの友より
「友」の表紙を飾る写真を募集
- ・8月ロータリーレポート:
1ドル124円

地区セミナー報告

財団セミナー 7/18

矢部(倉)委員長・桐田会長

社会・国際奉仕セミナー

7/25 安藤委員長



ぼちぼちいこカーの活動 宇多川 薫さん

ぼちぼちいこカーの活動は、3.
11の震災後、元青少年交換学生の
3人が集まって始めた。最初は南相
馬の仮設住宅に食料を運び、次には
心のケアを重視し、話を聞く傾聴ボ
ランティアを行い、さらに仮設の集
会所で交流広場を開き、肩もみ、足
湯、ハンドマッサージを行っている。
逗子RCとのかかわりは、タウンニ
ユースに活動が載ったことから昨年
12月地区補助金を使って農機具を
寄付して頂いた。畑の除染が終わっ
て6月頃から農機具を使い始め、今
では茄子、野菜が育っている。仮設
を2017年春には出なければなら
ないので、次の活動を模索している。
逗子RCにはとても感謝している。

【ゲスト】宇多川 薫 様
【出席報告】会員数 51 名 (出席免除 6 名)
出席数 28 名 出席率 58.33%